

山梨県言語聴覚士会第8回学術大会開催のご案内

大会長 中村 晴江
(甲府城南病院)

このたび、山梨県言語聴覚士会第8回学術大会を平成27年11月22日(日)に開催することとなりました。諸先輩方がつくりあげてこられた山梨県言語聴覚士会学術大会の大会長を務めさせていただくことを大変光栄に存じております。

近年、言語聴覚士に対する期待とニーズは医療、教育、福祉にとどまらず、介護や保健の分野へ、また、従来の言語機能訓練から、摂食嚥下訓練、ICT技術を活かした訓練・代替手段の支援へと広がっています。そのうえで、超急性期でのリスク管理、回復期における専門的治療技術や生活に視点を置いた関わり、そして維持期や終末期でのより特化した関わりなど、それぞれのステージで求められる多岐に渡った知識や治療技術の研鑽が要求されています。更に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの中で、言語聴覚士としての専門性のみならず、他職種の専門性を理解し、連携をとりながら、地域(地域住民のつながり、地域の社会資源、地域包括支援センターとの連携など)に対して幅広いチーム医療・支援を行っていくチームメンバーとしての包括的なヒューマンスキルが求められています。



そこで本大会のテーマを「鍛える!!チーム医療で輝くSTの専門性」とし、このテーマを具体的に表現するプログラムとして、学術大会では初の試みとなる教育講演を企画いたしました。「摂食嚥下機能」「高次脳機能障害」ともに、より実践的な内容についてお話しいただき、皆様と臨床の醍醐味を味わいたいと思います。さらに特別講演ではチーム医療推進協議会のアドバイザーとして、チーム医療の推進にご尽力されておられる医療ジャーナリストの福原 麻希氏をお招きし、多職種協働の推進にむけ、幅広い視点から現状や課題についてお話しを伺いたいと思います。また、一般口演では、7名の先生方に日々の臨床の成果や課題について発表していただきます。

学術大会の主役は、あくまでも会員のみなさん自身です。本大会が、日頃の活動の成果や疑問を発信し、知識や技術のブラッシュアップを図るとともに、会員相互の交流やネットワークの充実の一助となることができますよう願っております。多くの会員の皆様のご参加とご協力を心よりお願いいたします。

最後になりましたが、本学術大会の開催にあたり、鋭意準備を進めていただいております実行委員の皆様へ深く感謝申し上げます。

<第8回学術大会概要>

テーマ : 『鍛える!! チーム医療で輝くSTの専門性』
期 日 : 平成27年11月22日(日)
時 間 : 9時30分~16時30分(受付9時00分開始)
会 場 : 山梨大学医学部キャンパス 臨床大講堂
大会長 : 中村 晴江(甲府城南病院)
実行委員長: 赤池 洋(山梨大学医学部附属病院)
参加費 : 1,000円

内 容 :

1. 口演発表(7演題)

2. 教育講座Ⅰ 高次脳機能障害

「高次脳機能障害のリハビリテーションを考える」

講師: 中村 晴江 (甲府城南病院)

教育講座Ⅱ 摂食嚥下機能障害

「摂食嚥下リハビリで我々に求められるもの」

～認定言語聴覚士(摂食・嚥下障害領域)が各期を語る～

講師: 丸井 章子 (市立甲府病院)

和泉 裕二 (甲府共立病院)

小池 京子 (国立病院機構甲府病院)

3. 特別講演

「チーム医療はもっと進化できる!」

講師: 医療ジャーナリスト 福原 麻希

<略歴>

新聞や雑誌、書籍などで、主に医療や介護分野の記事を執筆。医療の取材は20年目に入る。チーム医療推進協議会の立ち上げと運営にも携わった。

- ・2007年『がん闘病とコメディカル』(講談社)
- ・2013年『チーム医療を成功させる10カ条現場に学ぶチームメンバーの心得』(中山書店)

*当日は東日本大震災のチャリティーバザーを行います(昼休憩に開催)。

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 第8回学術大会プログラム

9:00 受付開始

9:30 **開会式**

開会挨拶

大会長挨拶

会長挨拶

日程の説明

9:40 **口演1 症例（失語症）** 座長：高橋 正和（石和温泉病院）

9:40 ①Wernicke 失語症例の呼称における発話内容の分析

甲州リハビリテーション病院 赤池 絢

9:55 ②語頭音の想起困難が特徴的にみられた流暢性失語症の1例

甲府城南病院 石田 礼

10:10 ③亜急性期に当院での外来リハを開始した失語症者の活動と参加

湯村温泉病院 池神 多加子

10:25～10:40 休憩（15分）

10:40 **口演2 報告** 座長：藤巻 千春（しらゆり訪問看護ステーション）

10:40 ①当院の経管栄養患者における経口摂取獲得に関する傾向について

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 安富 朋子

10:55 ②当院における言語聴覚療法の現状と今後の展望

山梨県立中央病院 中嶋 崇博

11:10 ③当院 ST における「がんのリハビリテーション」の現状と今後の課題

甲府共立病院 和泉 裕二

11:25 **口演3 症例（小児）** 座長：梶原 さわか

（健康科学大学リハビリテーションクリニック）

11:25 ①発達障害に重複する構音障害の訓練について

石和共立病院 宮里 なつき

11:40～13:00 昼休み・チャリティーバザー・企業展示（80分）

13:00 **教育講座 I 高次脳機能障害** 座長：赤池 三紀子（湯村温泉病院）

「高次脳機能障害のリハビリテーションを考える」

講師：中村 晴江（甲府城南病院）

教育講座Ⅱ 摂食嚥下機能障害

座長：望月 眞由美（石和共立病院）

「摂食嚥下リハビリで我々に求められるもの」

～認定言語聴覚士（摂食・嚥下障害領域）が各期を語る～

講師：丸井 章子（市立甲府病院）

和泉 裕二（甲府共立病院）

小池 京子（国立病院機構甲府病院）

14：20 休憩（20分）

14：40 **特別講演** 座長：内山 量史（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

「チーム医療はもっと進化できる！」

医療ジャーナリスト 福原 麻希

16：10 **閉会式**

講評

閉会挨拶

終了

◆学術大会参加者の方へ

- ・参加費 1,000 円が必要です（当日受付にてお支払いください）。
- ・事前登録が必要です。
- ・受付は施設ごとをお願いいたします。
- ・当日はお弁当・飲み物がございます。昼食時に施設ごとにお受け取りください。
- ・昼食は講義室内でお取りください。
- ・ごみは専用のごみ袋にお入れください。
- ・喫煙は指定の場所をお願いいたします。

◆口演発表者の方へ

- ・発表 7 分、質疑 8 分です。発表時間は厳守してください。
- ・発表終了 1 分前と終了時に合図でお知らせします。
- ・演者は発表の 10 分前までに次演者席にお着きくださるようお願いいたします。
- ・スライド（PowerPoint）の送り操作は、発表者ご自身でお願いいたします。

◆質疑応答について

- ・質問をされる方は、座長の許可を得て、所属・氏名を述べてからお話してください。

◆座長の方へ

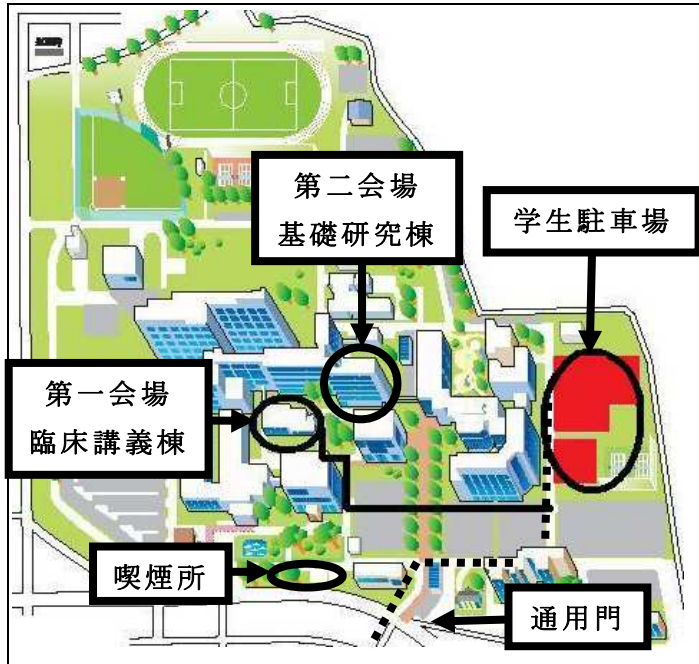
- ・担当演題群の開始 10 分前には次座長席にお着きくださるようお願いいたします。

【会場案内】

山梨大学 医学部キャンパス

〒409-3898 中央市下河東 1110

TEL : 055-273-1111 (代表)



<バス>

甲府駅南口ターミナル8番乗り場より
「山梨大学病院」行き 約30分で終点下車

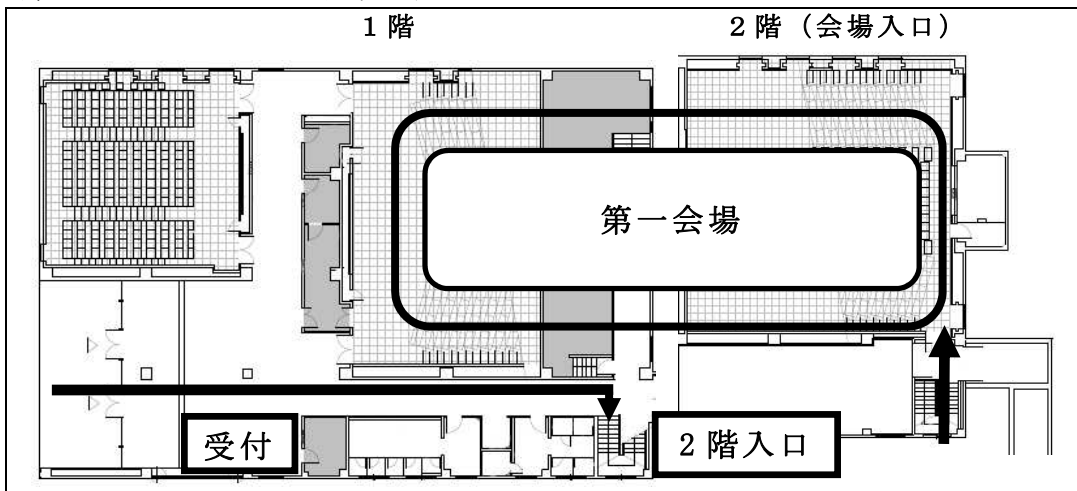
<電車>

甲府駅にてJR身延線へ乗り換え 約15分
JR身延線「常永駅」より東南へ 徒歩15分

<自動車>

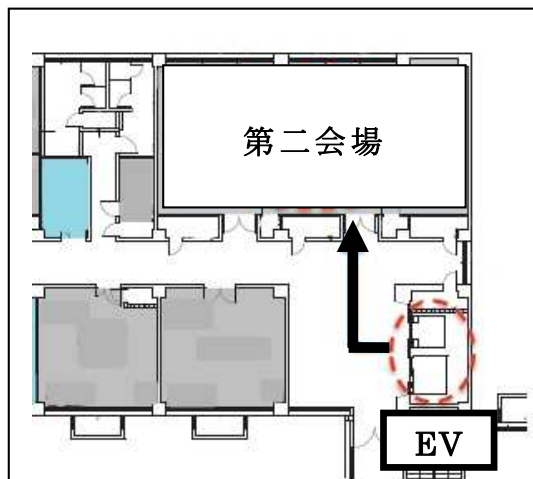
大学構内西側の学生駐車場をご利用ください。学生駐車場入り口は通用門になります。学生駐車場以外の場所にとめないように十分ご配慮ください。有料でも宜しければ、立体駐車場をご利用ください。

第一会場：臨床講義棟 臨床大講堂



1階の入場口は使用できません。階段を上がり、2階入口をご利用下さい。

第二会場：基礎研究棟 6階大会議室



教育講座Ⅱは基礎研究棟6階大会議室にて行います。基礎研究棟は、臨床講義棟を出て左になります。会場はエレベーターにて6階になります。

※病院、施設敷地内は全面禁煙となっております。
ご理解とご協力をお願いいたします。
指定された喫煙所をご利用下さい。